iPod

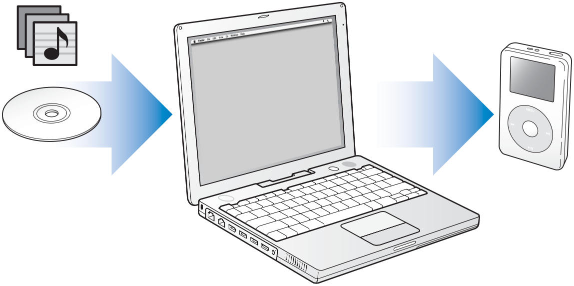
ユーザーズガイド

目次

はじめに

このたびは iPod をご購入いただき、ありがとうございます。このセクションをお読みいただけば、すぐに iPod を使い始めることができます。

iPod は iPod の CD に含まれる「iTunes」ミュージックソフトウェアと連携して動作します。「iTunes」を使って、CD またはデジタルミュージックコレクションから音楽をコンピュータに取り込みます。または、iTunes ミュージックストア（一部の国でのみ利用可能です）を使って、音楽を購入してコンピュータにダウンロードします。好みに合わせて曲を並べ替えてから、iPod に転送します。



iPod の使いかたについて

この章をお読みいただけば、iPod を設定し、すぐに音楽を再生できます。iPod での音楽再生とその他の機能の使いかたについては、13 ページの「iPod を使用する」を参照してください。

iPod のチュートリアル

iPod への音楽の転送や音楽の再生に関するより詳しいチュートリアルについては、iPod の CD に収録されている「iPod チュートリアル」を参照してください。

iPod の特長

iPod は、単なる音楽用プレーヤではありません。iPod を使って次のような操作を行うことができます。

- CD またはデジタルミュージックコレクションからたくさんの曲を保管し、持ち歩いて聴く
- iTunes ミュージックストアまたは audible.com から購入したオーディオブックを聴く
- 「On-The-Go」プレイリストで音楽を整理する
- iPod を外部ハードディスクとして使用して、ファイルやその他のデータを保存する
- イコライザの設定を変更して、音楽のサウンドを良くする
- お使いのコンピュータのアドレス情報、カレンダー、および To Do リストの情報を保存して同期させる
- メモを保管する
- アラームをセットする
- ボイスメモを録音する（オプションのマイクロフォンを使用）
- デジタルフォトを保管する（オプションのメモリカードリーダーを使用）
- ゲームで遊ぶ、など

マイクロフォン、メモリカードリーダー、その他の iPod アクセサリを購入するには、www.apple.com/japanstore へアクセスしてください。

お使いになる前に

Macintosh で iPod を使うには、次のものが必要です：

- FireWire または高電力型の USB 2.0 を標準装備した Macintosh



6ピンFireWire 400ポート



高電力型のUSB 2.0ポート
（Mac OS v10.3.4以降と使用）

- Mac OS X v10.1.5 以降

  Mac OS X v10.3.4 以降をお勧めします（iPod を USB 2.0 で使用する場合は必須です）。

- iTunes 4.6 以降（「iTunes」は iPod の CD に収録されています）

  「iTunes」を最新バージョンにアップデートするには、www.apple.co.jp/itunes へアクセスしてください。

- iPod のソフトウェア（iPod の CD に収録されています）

Windows PC で iPod を使うには、次のものが必要です：

- プロセッサ速度 500 MHz 以上の Windows PC
- Windows 2000 Service Pack 4 以降、もしくは Windows XP Home または Professional
- iTunes 4.6 以降（「iTunes」は iPod の CD に収録されています）

  「iTunes」を最新バージョンにアップデートするには、www.apple.co.jp/itunes へアクセスしてください。

- iPod のソフトウェア（iPod の CD に収録されています）
- FireWire または高電力型の USB 2.0 を標準装備しているか、FireWire カードまたは高電力型の USB 2.0 カードが取り付けられていること



高電力型のUSB 2.0ポート



6ピンFireWire 400ポート
（IEEE 1394）



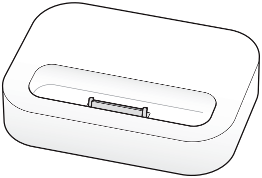
4ピンFireWire 400ポート
（オプションのアダプタ使用）

互換性のある FireWire カードと USB カードについて詳しくは、www.apple.co.jp/ipod を参照してください。

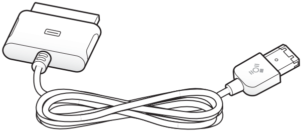
iPod のパッケージには、次のものが含まれています。



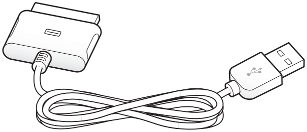
iPod



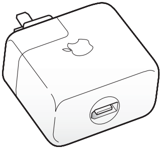
iPod Dock（一部の機種のみ）



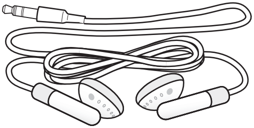
iPod Dockコネクタ（FireWireケーブル用）



iPod Dockコネクタ（USB 2.0ケーブル用）



iPod電源アダプタ



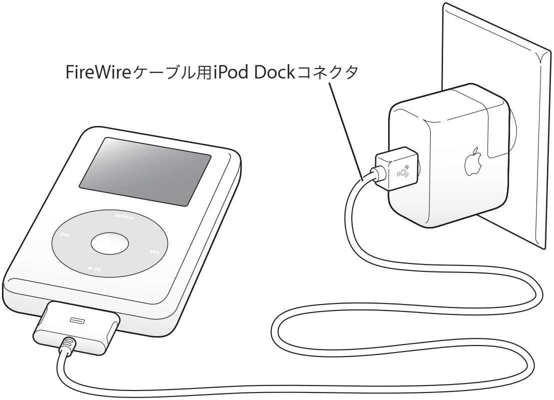
Appleインナーイヤー型ヘッドフォン

音楽を再生できるように iPod を設定する

iPod を設定するには、バッテリを充電し、iPod の CD からソフトウェアをインストールし、オーディオ CD コレクションからお使いのコンピュータに曲を取り込みます。次に、iPod にそれらの曲を転送し、音楽の再生を始めます。

手順 1：バッテリを充電する

FireWire ケーブル用の iPod Dock コネクタを使って、iPod を iPod 電源アダプタに接続します。内蔵バッテリは、約2 時間で 80%充電されます。完全に充電するには、約 4 時間かかります。



手順 2：ソフトウェアをインストールする

お使いのコンピュータに iPod の CD を挿入し、「iTunes」と iPod のソフトウェアをインストールします。

手順 3：コンピュータに音楽を取り込む

お使いのコンピュータにまだ音楽が転送されていない場合は、この手順を実行してください。オーディオ CD から音楽を取り込むことができます。また、インターネットに接続している場合は、iTunes ミュージックストアを使ってオンラインで音楽を購入して、コンピュータにダウンロードできます。数十万曲の音楽をブラウズし、どれでも 30 秒試聴することができます。iTunes ミュージックストアは、一部の国でのみ利用可能です。

オーディオ CD からコンピュータに音楽を読み込むには：

1 コンピュータに CD をセットします。「iTunes」が自動的に開き、「iTunes」のソースリストでその CD が選択されます。

2 転送したくない曲のチェックマークを外して、「読み込み」をクリックします。

3 ほかの CD にも読み込みたい曲がある場合は、この手順を繰り返します。

オンラインで音楽を購入するには：

1 「iTunes」を開き、ソースリストで「ミュージックストア」をクリックします。

2 「アカウント」ボタンをクリックして、オンスクリーンの説明に従ってアカウントを設定するか、すでにお持ちの Apple アカウントまたは AOL（America Online）アカウントの情報を入力します。

iPod への音楽の転送や音楽の再生に関するより詳しいチュートリアルについては、iPod の CD に収録されている「iPod チュートリアル」を参照してください。

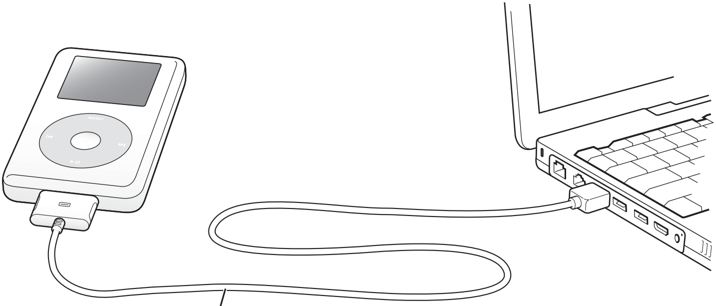
手順 4：iPod を接続して音楽を転送する

付属の 2 本のケーブルのいずれかを使って、iPod をコンピュータに接続します。ケーブルの両端のコネクタが正しい向きであることを確認します。正しい向きでしか差し込みできません。

Mac を使用している場合、または 6 ピンの FireWire 400 ポートがある Windows PC を使用している場合は、FireWire ケーブル用の iPod Dock コネクタを使用できます。

お使いのコンピュータに高電力型の USB 2.0 ポートがある場合は、USB 2.0 ケーブル用の iPod Dock コネクタを使用することもできます。

オプションの iPod Dock を使うこともできます（23 ページを参照）。



FireWire 400ポートに接続する場合は、
FireWireケーブル用のiPod Dockコネクタを使用します。
高電力型のUSB 2.0ポートに接続する場合は、
USB 2.0ケーブル用のiPod Dockコネクタを使用します。

iPod をコンピュータに接続すると、「iTunes」が自動的に開き、ミュージックライブラリにある音楽とプレイリストを iPod に転送します。

参考：USB 2.0 を使用して接続する場合、iPod は、コンピュータの高電力型 USB 2.0 ポートに直接接続するか、またはコンピュータに接続されている電源供給型 USB 2.0 ハブに接続してください。iPod は、キーボードなどの周辺機器に見られる低電力型 USB 2.0 ポートに接続しても機能しません。

USB 2.0 を使って曲またはファイルを転送する間、iPod のバッテリは消費されます。iPod のバッテリ残量が十分ではない状態で曲またはファイルを転送すると、転送を完了できず、転送中の情報が失われて、復元が必要になることがあります（53 ページを参照してください）。曲またはファイルを転送するときには、事前に iPod を充電することをお勧めします。iPod を充電するには、ファイルの転送をしない状態でコンピュータに接続するか、iPod 電源アダプタを使用します。

参考：高電力型の USB 2.0 ポートがあるノートコンピュータを使用している場合、最適にお使いいただくために、iPod を接続する前にコンピュータを電源コンセントに接続してください。

6 ピンの FireWire 400（IEEE 1394）ポートまたは高電力型の USB 2.0 ポートがない Windows PC を使用している場合は、次の方法で iPod を接続できます：

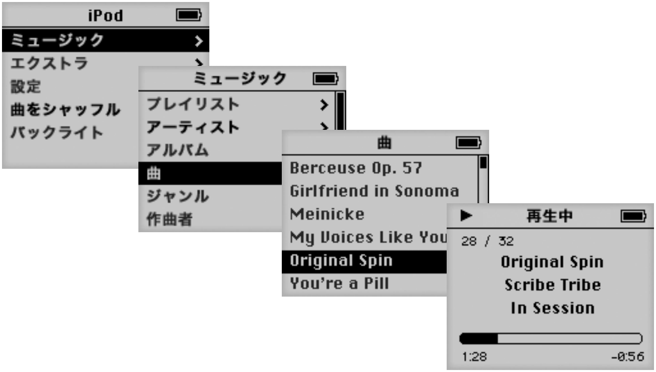
- FireWire カードまたは USB 2.0 カードを購入し、取り付けます。
- または、お使いのコンピュータに 4 ピンの FireWire ポートがある場合は、オプションの 6 ピン - 4 ピン FireWire アダプタを使用できます。

  参考：4 ピンの FireWire ポートを使う場合、コンピュータを介して iPod を充電することはできません。

ケーブルおよび互換性のある FireWire カードと USB カードについて詳しいことを知りたいときは、www.apple.co.jp/ipod を参照してください。

手順 5：音楽を再生する
曲の転送が完了すると、iPod のスクリーンに、「接続を解除できます。」というメッセージが表示されます。Dock コネクタの両側をしっかりと握って、iPod からケーブルを取り外します。

クリックホイールと「選択」ボタンを使って、聴きたい曲を見つけます。「再生」ボタンまたは「選択」ボタンを押すと、曲の再生が始まります。



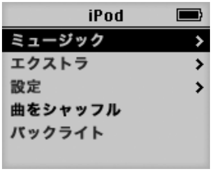
もっと詳しく知りたいときは
クリックホイールや iPod のその他のコントロールの使いかた、iPod への音楽の転送と音楽の管理方法、iPod のその他の機能の使いかた、バッテリの充電方法、および iPod アクセサリの使いかたについて詳しく知りたいときは、次のセクションをお読みください。

iPod を使用する

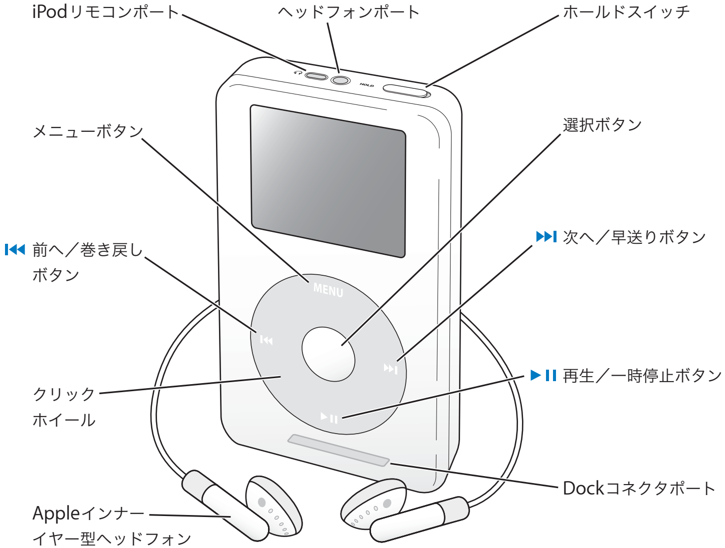
このセクションでは、iPod のコントロールの使用方法、音楽の転送、バッテリの充電、および iPod のその他の機能を説明します。

iPod のコントロールを使用する

iPod の電源を入れるときは、いずれかのボタンを押します。メインメニューが表示されます。



クリックホイールと「選択」ボタンを使用すると、画面のメニューの操作、曲の再生、設定の変更、および情報の表示を行うことができます。目的のメニュー項目に移動するときは、クリックホイール内を親指で軽く触れて動かします。項目を選択するときは、「選択」ボタンを押します。前のメニューに戻るときは、クリックホイールの「メニュー」ボタンを押します。


iPodリモコンポート
ヘッドフォンポート
ホールドスイッチ
メニューボタン
選択ボタン
前へ／巻き戻し
ボタン
次へ／早送りボタン
クリック
ホイール
再生／一時停止ボタン
Dockコネクタポート
Appleインナー
イヤー型ヘッドフォン
MENU
HOLD

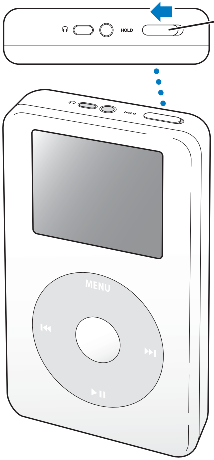
iPod のコントロール	
iPod をリセットする （問題が起こったときに使用します）	ホールドスイッチを切り替えます（ホールドに設定してから、もう一度オフにします）。次に、「メニュー」ボタンと「選択」ボタンを同時に押し、Apple ロゴが表示されるまで、6 秒以上押し続けます。
iPod の電源を入れる	いずれかのボタンを押します。
iPod の電源を切る	「再生／一時停止」ボタンを押し続けます。
バックライトを点灯する／消す	「メニュー」ボタンを押し続けるか、メインメニューで「バックライト」を選択します。
メニュー項目を選択する	目的の項目までスクロールし、「選択」ボタンを押します。
前のメニューに戻る	「メニュー」ボタンを押します。
曲をブラウズする	メインメニューで「ミュージック」を選択します。
曲を再生する	目的の曲に移動して「選択」ボタンまたは「再生／一時停止」ボタンを押します。曲を再生するときは、iPod をコンピュータとの接続を解除する必要があります。
リスト内のすべての曲を再生する	目的のリストのタイトル（アルバムのタイトル、プレイリストのタイトルなど）に移動し、「再生／一時停止」ボタンを押します。
音量を調節する	「再生中」の画面が表示されているときに、クリックホイールを使用します。オプションの iPod ワイヤードリモコン（www.apple.com/japanstore から購入できます）の音量調節は、どの画面を表示しているときでも使用できます。

iPod のコントロール	
曲を一時停止する	曲またはリストが選択されていない状態で、「再生／一時停止」ボタンを押します。
iPod のボタンを一時的に使用できないようにする （誤ってボタンを押してしまうのを防ぎます）	ホールドスイッチをホールドに切り替えます（オレンジ色のバーが表示されます）。
曲の中の好きな場所に移動する	「再生中」画面が表示されているときに、「選択」ボタンを押してスクラブバーを表示します。次に、曲の中の好きな場所までスクロールします。
次の曲を再生する	「次へ／早送り」ボタンを押します。
曲の最初から再生する	「前へ／巻き戻し」ボタンを押します。
前の曲を再生する	「前へ／巻き戻し」ボタンを 2 回押します。
早送りする	「次へ／早送り」ボタンを押し続けます。
巻き戻す	「前へ／巻き戻し」ボタンを押し続けます。

ホールドスイッチを使って iPod のボタンを一時的に使用できないようにする

iPod をポケットに入れて持ち歩いているときに、誤ってボタンを押したり、電源が入ったりするのを防ぐため、ボタンを一時的に使えなくすることができます。

- ホールドスイッチをホールドの位置に切り替えます。



iPodのボタンを使えなくするには、スイッチを中心側にスライドさせます（オレンジ色のバーが見えるようにします）。

iPod でプレイリストを作成する

好きな曲を好きな順番で再生するように iPod を設定することができます。iPod で曲のリストを作成すると、「On-The-Go」プレイリストに曲が表示されます。

On-The-Go プレイリストを作成するには：

1 目的の曲に移動し、曲のタイトルが点滅するまで「選択」ボタンを押し続けます。

2 追加したいすべての曲について、手順 1 を繰り返します。

3 「ミュージック」>「プレイリスト」>「On-The-Go」と選択して、曲のリストを確認します。

曲のリスト全体を一度に追加することもできます。たとえば、アルバムを追加するときは、目的のアルバムのタイトルに移動し、アルバムのタイトルが点滅するまで「選択」ボタンを押し続けます。

On-The-Go プレイリスト内の曲を再生するには：

- 「ミュージック」>「プレイリスト」>「On-The-Go」と選択し、曲を選択します。

On-The-Go プレイリストから曲を取り除くには：

- プレイリスト内の目的の曲に移動し、曲のタイトルが点滅するまで「選択」ボタンを押し続けます。

On-The-Go プレイリスト全体を消去するには：

- 「ミュージック」>「プレイリスト」>「On-The-Go」>「プレイリストを削除」と選択します。

On-The-Go プレイリストを iPod に保存するには：

- 「ミュージック」＞「プレイリスト」＞「On-The-Go」＞「プレイリストを保存」＞「プレイリストを保存」と選択します。

最初のプレイリストが、「プレイリスト」メニューに「新規プレイリスト 1」として保存されます。「On-The-Go」プレイリストがリセットされます。「On-The-Go」プレイリストは好きな数だけ保存できます。

On-The-Go プレイリストをコンピュータに転送するには：

- iPod が曲を自動で転送するように設定されていて（28 ページを参照）、「On-The-Go」プレイリストを作成している場合、iPod を接続すると「On-The-Go」プレイリストは「iTunes」に自動的に転送されます。新しい「On-The-Go」プレイリストが「iTunes」のソースリストに表示されます。

曲にレートを付ける

曲にレートを付けて（星 1 ～ 5 つ）、曲の好みの程度を指定することができます。指定したレートは、「iTunes」でプレイリストを自動作成するときに利用できます（28 ページの「スマートプレイリストについて」を参照）。

曲にレートを付けるには：

1. 曲を再生します。
2. 「再生中」画面が表示されているときに、「選択」ボタンを 2 回押します。
3. クリックホイールを使って、星の数を選択します。

iPod を接続する／取り外す

iPod をコンピュータに接続して、音楽を転送したり管理したりできます。また、ほとんどの場合、バッテリを充電することもできます。

- Macを使用している場合、または6ピンのFireWireポートがあるWindows PCを使用している場合は、付属の FireWire ケーブル用 iPod Dock コネクタを使用して iPod を接続できます。
- コンピュータに高電力型の USB 2.0 ポートがある場合は、付属の USB 2.0 ケーブル用 iPod Dock コネクタを使用して接続することもできます（図と詳しい情報については、10 ページを参照してください）。

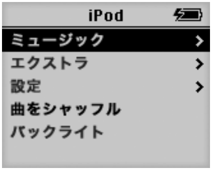
iPod をコンピュータに接続するには：

- コンピュータの FireWire ポートまたは高電力型の USB 2.0 ポートに適切なケーブルを接続してから、もう一方の端を iPod に接続します。ケーブルのコネクタが正しい向きであることを確認します。それぞれのコネクタは、正しい向きでしか差し込みできません。
- iPod Dock（23 ページを参照）を使用する場合は、コンピュータの FireWire ポートまたは高電力型の USB 2.0 ポートに適切なケーブルを接続し、もう一方の端を Dock に接続します。次に、iPod を Dock にセットします。

デフォルトの設定では、iPod をコンピュータに接続すると、曲が自動的に転送されます。自動転送が完了すると、iPod を取り外すことができます。

iPod の接続を解除する

音楽の転送中は、iPod の接続を解除できません。iPod の画面を見れば、接続を解除できるかどうかがすぐに分かります。





メインメニューまたは大きいバッテリアイコンが表示されている場合は、コンピュータから iPod を取り外すことができます。

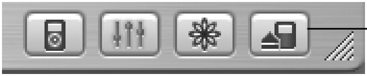


このメッセージが表示された場合は、iPod を取り出してからコンピュータとの接続を解除する必要があります。

曲を手動で転送するように設定している場合（29 ページを参照）、またはハードディスクとして使用するように設定している場合は（36 ページを参照）、iPod の接続を解除する前に iPod を取り出す必要があります。

iPod を取り出すには：

- 「iTunes」のソースリストで iPod を選択し、「取り出し」ボタンをクリックします。



取り出しボタン

Mac を使用している場合は、iPod のデスクトップアイコンを「ゴミ箱」にドラッグして iPod を取り出すこともできます。

Windows PC を使用している場合は、Windows システムトレイで「ハードウェアを安全に取り外す」アイコンを選択し、お使いの iPod を選択することによって、iPod を取り出すことができます。

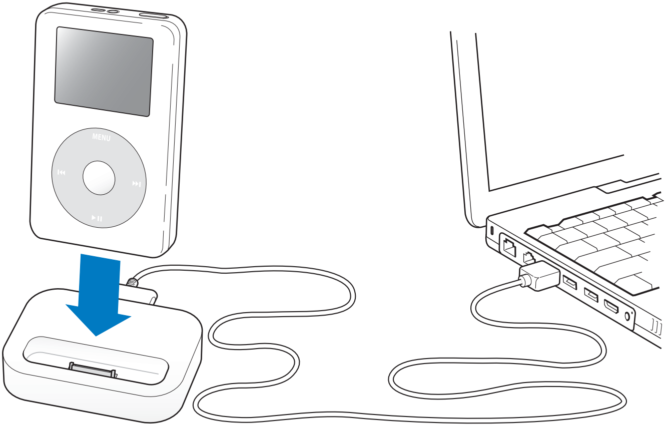
iPod を取り外すには：

- iPod が iPod ケーブルに接続されている場合は、Dock コネクタの両側をしっかりと握ってケーブルを iPod から取り外します。
- iPod が Dock にセットされている場合は、そのまま取り外します。

重要：「接続を解除しないでください。」というメッセージが表示されているときは、iPod を取り外さないでください。iPod 上のファイルが壊れてしまう可能性があります。このメッセージが表示されているときは、取り外す前に、iPod の取り出し操作を行う必要があります。

iPod Dock（一部の機種に付属しています）を使用して iPod を接続する

iPod Dock に iPod をセットすると、iPod を充電したり、音楽を転送したりできます。iPod を接続するのと同じケーブルを使って Dock をコンピュータに接続するか、または FireWire ケーブルと電源アダプタを使って Dock を電源コンセントに接続します。次に、iPod を Dock にセットします。



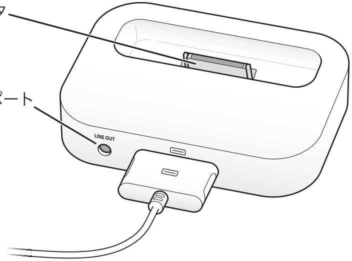
参考：ケーブルのコネクタが正しい向きであることを確認します。それぞれのコネクタは、正しい向きでしか差し込みできません。

iPod Dock を使用すると、外部電源スピーカや家庭用ステレオを使って iPod の音楽を再生することもできます。その場合は、標準の 3.5 ミリステレオミニプラグが付いたオーディオケーブルが必要です（ほとんどの外部スピーカには、このタイプのケーブルが付属しています）。

Dock を使って iPod の音楽を再生するには：

1 Dock に iPod をセットします。

2 3.5 ミリステレオミニプラグが付いたオーディオケーブルを使って、Dock のライン出力ポートにスピーカまたはステレオを接続します。



3 iPod のコントロールを使って曲を再生します。

Dock を外部オーディオソースに接続しているときに音量を変更する場合は、外部ソースの音量コントロールを使用します。

音楽を整理する／転送する

iPod で音楽を再生するための設定手順については、8 ページの「音楽を再生できるように iPod を設定する」を参照してください。ここでは、音楽を好みに合わせて並べ替えてから転送する方法について詳しく説明します。

iTunes について

「iTunes」は、コンピュータ上の音楽を管理し、iPod に音楽を転送するために使用するアプリケーションです。iPod をコンピュータに接続すると、「iTunes」が自動的に開きます。



「iTunes」で実行できる操作のいくつかを紹介します。

- iTunes ミュージックストアから曲やオーディオブックを購入およびダウンロードする
- CD やデジタル音楽を聴く
- CD の音楽を音楽ライブラリに追加して、CD をドライブに入れなくても再生できるようにする
- オリジナルの CD を作成する（コンピュータに CD 作成デバイスがある場合）
- プレイリストを iTunes ミュージックストアに公開する
- 動的な「パーティーシャッフル」プレイリストを作成する
- インターネットラジオ局を聴く

このガイドでは、「iTunes」を使用して iPod に曲を転送する方法、および iPod 上の曲を管理する方法を説明します。「iTunes」のその他の機能の使用方法について詳しいことを知りたいときは、「iTunes」を開き「ヘルプ」＞「iTunes ＆ミュージックストアヘルプ」と選択してください。

iTunes ミュージックストアについて

「iTunes」を使用して、iTunes ミュージックストアで音楽を試聴し、気に入った音楽を購入して、ダウンロードすることができます（一部の国でのみ利用可能です）。数十万曲以上の音楽を購入できます。ミュージックストアから曲を購入するときは、Apple アカウントを使用できます。また、AOL（America Online）アカウントをお持ちの場合は、それを使用することもできます。

音楽をブラウズし、購入するには：

1 「iTunes」を開き、ソースリストで「ミュージックストア」をクリックします。

2 「アカウント」ボタンをクリックして、オンスクリーンの説明に従ってアカウントを設定するか、すでにお持ちの Apple アカウントまたは AOL アカウントの情報を入力します。

1 台の iPod で、最大 5 つの異なるミュージックストア・アカウントを使って音楽を購入できます。

iTunes ミュージックストアについて詳しいことを知りたいときは、「iTunes」を開き「ヘルプ」＞「iTunes &ミュージックストアヘルプ」と選択してください。

iPod が対応しているオーディオファイルの形式

- AAC（M4A、M4B、M4P）（最大 320 kbps）
- Apple ロスレス（高品質の圧縮形式。iTunes 4.5 以降で利用できます）
- MP3（最大 320 kbps）
- MP3 可変ビットレート（VBR）
- WAV
- AA（audible.com の format 2、3、および 4 の朗読ファイル）
- AIFF

Apple ロスレス形式を使ってエンコードした曲のサウンド品質は CD と同等ですが、使用する容量は AIFF 形式または WAV 形式を使ってエンコードした曲の約半分で済みます。AAC 形式または MP3 形式でエンコードした場合は、さらに少ない容量で済みます。「iTunes」を使用して CD から音楽を読み込む場合、デフォルトで AAC 形式に変換されます。

Windows PC で iTunes 4.5 以降を使用する場合は、保護されていない WMA ファイルを AAC 形式または MP3 形式に変換できます。これは、WMA 形式でエンコードされた音楽のライブラリがある場合に便利です。詳しいことを知りたいときは、「iTunes」を開き、「ヘルプ」>「iTunes &ミュージックストアヘルプ」と選択してください。

iPod は、WMA、MPEG Layer 1、MPEG Layer 2 のオーディオファイル、または audible.com の format 1 には対応していません。

プレイリストについて

「iTunes」を使用して、曲を並べ替えてプレイリストを作成できます。たとえば、運動中に聴くための曲や気分に合った曲をまとめたプレイリストを作成できます。

コンピュータの音楽ライブラリに入っている曲を使って、好きなだけプレイリストを作成できます。曲をプレイリストに追加しても、その曲がライブラリから取り除かれることはありません。

iPod を接続してアップデートすると、プレイリストが iPod に転送されます。プレイリストをブラウズするときは、iPod で「ミュージック」>「プレイリスト」と選択します。

スマートプレイリストについて

「iTunes」を使用している場合は、ライブラリ内の曲を使って、独自のスマートプレイリストを自動的に作成することができます。特定のジャンルの音楽、特定のアーティスト別の曲、または指定した条件に一致する曲だけを集めたスマートプレイリストを作成できます。たとえば、サイズ 3 ギガバイト（GB）以下で、レートの星の数が 3 つ以上の曲だけを集めたプレイリストを作成できます（19 ページの「曲にレートを付ける」を参照）。

スマートプレイリストを作成した後は、iPod の音楽に指定した条件に一致する曲があると、スマートプレイリストに自動的に追加されます。

コンピュータ上でプレイリストを作成する

プレイリストを作成するには：

- 「iTunes」でプラス（+）ボタンをクリックしてプレイリストの名前を入力し、ライブラリまたは別のプレイリストから新しいプレイリストに曲をドラッグします。

スマートプレイリストを作成するには：

- 「iTunes」で、「ファイル」＞「新規スマートプレイリスト」と選択し、プレイリストの条件を選択します。選択した条件に一致するライブラリ内のすべての曲が、プレイリストに自動的に追加されます。

曲とプレイリストを iPod に自動的に転送する

デフォルトの設定では、コンピュータに接続したときに iPod が自動的にアップデートされます。「iTunes」によって、iPod の音楽ライブラリがコンピュータの音楽ライブラリの曲やプレイリストと同期するように、新しい曲が iPod に転送され、音楽ライブラリにない曲が iPod から削除されます。

「iTunes」の音楽ライブラリの特定の曲だけを転送するように iPod を設定できます。使用しているコンピュータに保存されている音楽が多すぎて、iPod に入りきらない場合にはこの機能が便利です。

特定の曲だけををアップデートするには：

1 「iTunes」で、転送したい曲の横にあるチェックボックスにチェックマークを付けます（デフォルトでは、すべての曲にチェックマークが付いています）。

2 「iTunes」のソースリストで iPod を選択し、「オプション」ボタンをクリックします。



3 「チェックマークのある曲だけをアップデートする」を選択します。

選択したプレイリストだけをアップデートするように設定するには：

1 「iTunes」のソースリストで iPod を選択し、「オプション」ボタンをクリックします。

2 「選択したプレイリストのみ自動的にアップデート」を選択します。

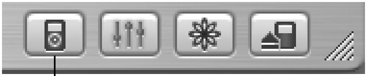
曲とプレイリストを iPod に手動で転送する

曲を手動で転送するように iPod を設定すれば、曲やプレイリストを個別に転送することができます。

曲を手動で転送するように設定すると、iPod をコンピュータに接続しても「iTunes」は iPod を自動的にアップデートしません。

曲を手動で転送するように設定するには：

1 「iTunes」のソースリストで iPod を選択し、「オプション」ボタンをクリックします。



オプションボタン

2 「曲とプレイリストを手動で管理」 を選択します。

iPod に曲またはプレイリストを手動で転送するには：

- 「iTunes」で、曲またはプレイリストをソースリスト内の iPod にドラッグします。

iPod から曲とプレイリストを手動で削除する

曲を手動で転送するように設定している場合は（前述を参照）、iPod から曲やプレイリストを個別に削除することができます。iPod から手動で削除した曲は、「iTunes」ライブラリからは削除されません。

iPod から曲またはプレイリストを手動で削除するには：

1 「iTunes」のソースリストで iPod を選択します。

2 曲またはプレイリストを選択し、キーボードの delete キーを押します。

プレイリストを削除しても、プレイリストにある曲は iPod に残ります。

iPod 上のプレイリストを手動で変更する

曲を手動で転送するように iPod を設定している場合は（前述を参照）、iPod に新しいプレイリストを作成したり、iPod の既存のプレイリストに曲を追加したりプレイリストから曲を削除することができます。

iPod に新しいプレイリストを作成するには：

1 「iTunes」のソースリストで iPod を選択し、プラス（+）ボタンをクリックします。

2 新しいプレイリストに曲をドラッグします。

iPod 上のプレイリストを変更するには：

- 曲を追加するときは、iPod 上のプレイリストに曲をドラッグします。曲を削除するときは、プレイリスト内の曲を選択し、キーボードの delete キーを押します。

朗読ファイルを開く

iTunes ミュージックストア（一部の国でのみ利用可能です）または audible.com から朗読のオーディオブックを購入し、ダウンロードして iPod で聴くことができます。

「iTunes」を使って、音楽と同じように、オーディオブックを転送できます。

iPod のオーディオブックを途中で聴くのを止め、後で再開した場合、続きから再生されます。

iPod は、シャッフルに設定されていると、プレイリスト内から曲を再生する場合以外はオーディオブックをスキップします。

朗読の速さを設定する

オーディオブックは、通常より速い速度または遅い速度で再生できます。

オーディオブックの再生速度を設定するには：

- 「設定」＞「オーディオブック」と選択します。

朗読の速さを設定できるのは、iTunes ミュージックストアまたは audible.com から購入したオーディオブックだけです。

iPod に保存されている曲数を確認する

iPod に保存されている曲数、ディスクの空き容量、およびその他の情報を表示するときは、iPod のメインメニューで「設定」＞「情報」と選択します。

iPod の設定を調整する

「設定」メニューでは、iPod の設定を直接変更できます。

曲をシャッフルするように設定する

ランダムな順序で曲やアルバムを再生するように iPod を設定できます。

すべての曲をシャッフルして再生を開始するには：

- iPod のメインメニューで「曲をシャッフル」を選択します。

音楽ライブラリ全体からランダムな順序で曲の再生が始まります。オーディオブックはスキップします。

1 曲再生するたびに曲またはアルバムをシャッフルするように設定するには：

1 iPod のメインメニューで「設定」を選択します。

2「シャッフル」を「曲」または「アルバム」に設定します。

「設定」>「シャッフル」と選択して、曲をシャッフルするように設定すると、再生中の曲が含まれているリスト（例えばアルバムやプレイリスト）の中で曲をシャッフルします。

アルバムをシャッフルするように設定すると、アルバムのすべての曲が順序通り再生され、次にリスト中の別のアルバムがランダムに選択され、そのアルバムのすべての曲が順序通り再生されます。

曲をリピートするように設定する

iPod を設定して、1 曲を何度もリピートしたり、一連の曲をリピートしたりできます。iPod では、再生中の曲を含むリストの曲をリピート再生します。

曲をリピートするように設定するには：

- iPod のメインメニューで「設定」を選択します。
  - リスト内のすべての曲をリピートするときは、「リピート」を「すべて」に設定します。
  - 1 曲だけをリピートするように設定するときは、「リピート」を「1 曲」に設定します。

クリックホイールの音を設定する

メニュー項目をスクロールすると、iPod の内蔵スピーカから聞こえるクリック音で、クリックホイールが機能していることが分かります。代わりにヘッドフォンでクリックホイールの音を再生するように設定したり、クリックホイールの音をオフにしたりすることもできます。

クリックホイールの音を再生する方法を設定するには：

- iPod のメインメニューで「設定」を選択します。
  - ヘッドフォンからクリックホイールの音を再生するように設定するときは、「クリッカー」を「ヘッドフォン」に設定します。
  - クリックホイールの音をオフにするときは、「クリッカー」を「オフ」に設定します。
  - iPod の内蔵スピーカからクリックホイールの音を再生するように設定するときは、「クリッカー」を「スピーカ」に設定します。
  - iPod の内蔵スピーカとヘッドフォンの両方からクリックホイールの音を再生するように設定するときは、「クリッカー」を「両方」に設定します。

同じ相対音量レベルで曲を再生するように設定する

「iTunes」では、同じ相対音量レベルですべての曲が再生されるように、曲の音量を自動的に調整することができます。「iTunes」の音量設定を使用するように iPod を設定できます。

すべての曲が同じ相対音量レベルで再生されるように iTunes を設定するには：

1. 「iTunes」で、「iTunes」>「環境設定」（Mac の場合）と選択するか、「編集」>「設定」（Windows PC の場合）と選択します。
2. 「エフェクト」をクリックし、「サウンドチェック」を選択します。

iTunes の音量設定を使用するように iPod を設定するには：

- 「設定」＞「サウンドチェック」と選択します。

「iTunes」で「サウンドチェック」を選択していない場合は、iPod で設定しても効果はありません。

iPod のイコライザを使用する

イコライザプリセットを使用すると、特定の音楽ジャンルやスタイルに合わせて、iPod のサウンドを変更することができます。たとえば、ロック音楽のサウンドを良くするには、イコライザを「Rock」に設定します。

- 「設定」＞「EQ」と選択し、イコライザプリセットを選択します。

「iTunes」でイコライザプリセットを曲に割り当てており、iPod のイコライザが「オフ」に設定されている場合、その曲は「iTunes」の設定を使って再生されます。詳しくは、「iTunes ＆ミュージックストアヘルプ」を参照してください。

バックライトタイマーを設定する

ボタンを押したり、クリックホイールを使用したりしたときに、バックライトが一定の時間だけ点灯するように設定できます。

- 「設定」＞「バックライトタイマー」と選択し、自動的にバックライトを消すまでの時間を選択します。

バックライトタイマーを設定しなくても、iPod の「メニュー」ボタンを押し続けるか、メインメニューで「バックライト」を選択することによって、バックライトを好きなときに点灯できます。ただし、数秒すると、バックライトは自動的に消えます。

メインメニューの項目を追加する／取り除く

よく使用する項目を iPod のメインメニューに追加することができます。たとえば、メインメニューに「曲」の項目を追加すると、「ミュージック」を選択しなくても「曲」を選択できるようになります。

メインメニューの項目を追加または取り除くには：

- 「設定」＞「メインメニュー」と選択します。

日時を設定する／表示する

日時を設定するには：

- 「設定」＞「日付と時刻」と選択します。

日時を表示するには：

- 「エクストラ」＞「時計」と選択します。

タイトルバーに時間を表示するように iPod を設定するには：

- 「設定」＞「日付と時刻」と選択します。

タイトルバーに時間を表示するように設定すると、iPod のどのメニュー画面でも時間を確認できます。

言語を設定する

iPod は、任意の言語を使用するように設定できます。

- 「設定」＞「言語」と選択し、言語を選択します。

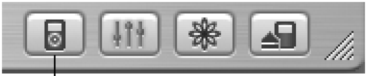
iPod のその他の機能を使用する

iPod を外部ハードディスクとして使用する

iPod をハードディスクとして使用して、データファイルを保存したり転送したりできます。

iPod をハードディスクとして使用するには：

1 「iTunes」のソースリストで iPod を選択し、「オプション」ボタンをクリックします。



オプションボタン

2 「ディスクとして使用する」を選択します。

iPod をハードディスクとして使用すると、Mac では、デスクトップに iPod のディスクアイコンが表示されます。Windows PC では、Windows の「エクスプローラ」に、次に利用できるドライブ文字を使って iPod のディスクアイコンが表示されます。

参考：「オプション」ウインドウの「曲とプレイリストを手動で管理」を選択して、iPod をハードディスクとして使用することもできます。

参考：iPod に音楽ファイルを転送する場合は、必ず「iTunes」を使います。「iTunes」を使って転送した曲は、Macintosh の「Finder」または Windows の「エクスプローラ」の iPod には表示されません。同様に、Macintosh の「Finder」または Windows の「エクスプローラ」を使って音楽ファイルを iPod にコピーしても、それらの音楽ファイルは iPod では再生できません。

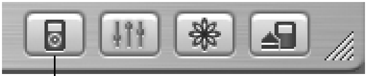
iTunes が自動的に開かないようにする

iPod を主にハードディスクとして使用する場合、iPod を接続したときに、「iTunes」が自動的に開かないようにすることができます。

コンピュータに iPod を接続したときに iTunes が自動的に開かないようにするには：

1 「iTunes」のソースリストで iPod を選択します。

2 「オプション」ボタンをクリックして、「接続時に iTunes を開く」の選択を解除します。



オプションボタン

スリープタイマーを設定する

指定した時間が経過すると、iPod の電源が自動的に切れるように設定することができます。

- 「エクストラ」＞「時計」＞「スリープタイマー」と選択し、自動的に電源を切るまでの時間を選択します。

スリープタイマーを設定すると、iPod の「再生中」画面に、時計アイコンと、iPod の電源が切れるまでの残り分数が表示されます。

アラームを設定する

iPod をアラーム時計として使うことができます。

アラームを設定するには：

1 「エクストラ」＞「時計」＞「時計のアラーム」と選択します。

2 「アラーム」を「オン」に設定します。

3 サウンドを選択します。

「ビープ音」を選択すると、iPod の内蔵スピーカからアラームが聞こえるようになります。プレイリストを選択した場合、アラームが聞こえるようにするには、iPod をスピーカまたはヘッドフォンに接続する必要があります。

住所、電話番号、カレンダーのイベント、To Do リストを読み込む

アドレス情報、カレンダーのイベント、To Do リストを iPod に保存すれば、外出先でも確認することができます。Mac 上で Mac OS X と「iSync」を使用している場合は、ボタンのクリックなどの簡単な操作で実行できます。

「iSync」を使用して情報を同期させるには、Mac OS X v10.2.8 以降、iSync 1.1 以降、および iCal 1.0.1 以降が必要です。

Mac と iSync を使ってすべての情報を読み込むには：

1 iPod をコンピュータに接続します。
2 「iSync」を開き、「デバイス」＞「デバイスの追加」と選択します。この手順を実行する必要があるのは、iPod で「iSync」を初めて使用するときだけです。
3 iPod を選択し、「今すぐ同期」をクリックします。

「iSync」は、「iCal」および Mac OS X の「アドレスブック」から iPod に情報を転送します。

次回 iPod を同期するときは、「iSync」を開いて「今すぐ同期」をクリックするだけで読み込むことができます。また、iPod を接続したときに自動的に同期するように設定することもできます。

参考：「iSync」では、コンピュータの情報が iPod に転送されます。iPod の情報をコンピュータに転送することはできません。

Windows を使用している場合または「iSync」を使って読み込みたくない場合は、iPod に情報を手動で転送できます。その場合、iPod をハードディスクとして設定する必要があります（36 ページの「iPod を外部ハードディスクとして使用する」を参照）。

アドレス情報を手動で読み込むには：

1 iPod をコンピュータに接続し、お使いのメールアプリケーションまたは個人情報管理アプリケーションを開きます。アドレス情報を読み込めるアプリケーションには、「Palm Desktop」、「Microsoft Outlook」、「Microsoft Entourage」、「Eudora」などがあります。

2 アプリケーションのアドレスブックから、iPod の「Contacts」フォルダにアドレス情報をドラッグします。

重要な予定やカレンダーのイベントを手動で読み込むには：

1 標準の iCalendar 形式（ファイル名の最後に「.ics」が付きます）または vCal 形式（ファイル名の最後に「.vcs」が付きます）を使用する予定表アプリケーションから、予定表のイベントを書き出します。

2 書き出したファイルを iPod の「Calendars」フォルダにドラッグします。

参考：To Do リストを iPod に転送するには、「iSync」および「iCal」を使用する必要があります。

iPod にアドレス情報を表示するには：

- 「エクストラ」＞「アドレス帳」と選択します。

カレンダーのイベントを表示するには：

- 「エクストラ」＞「カレンダー」と選択します。

To Do リストを表示するには：

- 「エクストラ」＞「カレンダー」＞「To Do」と選択します。

メモやその他の情報を保存する／読む

iPod にテキストメモを保存して読むことができます。iPod をハードディスクとして使用するように設定する必要があります（36 ページを参照）。

1 ワードプロセッサの書類をテキスト（.txt）ファイルとして保存します。

2 それらのファイルを iPod の「Notes」フォルダに入れます。

メモを表示するには：

- 「エクストラ」＞「メモ」と選択します。

ボイスメモを録音する

オプションの iPod 互換マイクロフォン（www.apple.com/japanstore で購入可能）を使用して、ボイスメモを録音することができます。ボイスメモをiPod に格納してから、使用しているコンピュータに転送できます。

ボイスメモを録音するには：

1. iPod のヘッドフォンポートにマイクロフォンを接続し､｢録音｣を選択して録音を開始します。
2. 口から 10cm ほど離れたところにマイクロフォンを持ち、話します｡録音を一時停止するには「一時停止」を選択します。
3. 録音が完了したら、「停止と保存」を選択します。録音した内容が保存され、録音日時順に表示されます。

録音した内容を再生するには：

- 「エクストラ」＞「ボイスメモ」と選択し、再生したい録音を選択します。

参考：「ボイスメモ」メニュー項目はマイクロフォンが接続されるまで表示されません。

コンピュータにボイスメモを転送するには：

ボイスメモは iPod の「Recordings」フォルダに WAV ファイル形式で保存されています。iPod をディスクとして使用する場合は、ボイスメモをフォルダからドラッグしてコピーできます。iPod が曲を自動で転送するように設定されていて（28 ページを参照)、ボイスメモを録音している場合、iPod を接続するとボイスメモは「iTunes」のプレイリストに転送されます。新しいボイスメモプレイリストが「iTunes」のソースリストに表示されます。

デジタルフォトの保存

オプションの iPod 互換メモリカードリーダー（www.apple.com/japanstore で購入可能）、標準のデジタルカメラ、メモリカードを使用して、iPod にデジタルカメラで撮った写真を保存し、メモリカードからこれらの写真を削除して、さらにたくさんの写真をとることができます。その後、Macintosh の「iPhoto」のような標準のデジタルフォトアプリケーションを使用して、iPod から写真をコンピュータに転送できます。

iPod に写真を保存するには：

1 メモリカードリーダーにメモリカードを挿入してから、メモリカードリーダーをiPodのDockコネクタポートに接続します。

2「取り込み」を選択します。

写真はロール番号順に iPod に表示されます。

参考：デジタルフォトの記憶デバイスによっては、動作が異なる場合があります。デバイスに付属の使用説明書を参照してください。

iPod に保存されている写真に関する情報を表示するには：

- 「エクストラ」＞「写真の取り込み」と選択し、ロール番号を選択します。
  メディアの種類、写真の枚数、ロールのサイズが表示されます。iPod には写真は表示できません。

参考：「写真の取り込み」メニュー項目は、メモリカードリーダーが接続されていないと表示されません。

メモリカードから写真を消去するには：

1 メモリカードから写真を読み込みます（前述を参照）。

2「カードを消去」を選択します。メモリカードから写真がすべて消去されます。

コンピュータに写真を転送するには：

- iPod をコンピュータに接続し、デジタルカメラから写真を転送する際に使用するアプリケーションを開きます。詳しくは、アプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

  Macintosh を使用している場合、「iPhoto」または「イメージキャプチャ」を使用して、写真を転送できます。

  参考：写真は iPod の「DCIM」（デジタルカメライメージ）フォルダに保存されます。また、このフォルダを開き、デスクトップにイメージファイルをドラッグして、コンピュータにイメージを転送できます。iPod はハードディスクとして使用できるようにしておく必要があります。

iPod 互換メモリカードリーダーの使用方法について詳しくは、リーダーに付属の使用説明書を参照してください。

ゲームで遊ぶ

iPod には、ゲームがいくつか入っています。

ゲームで遊ぶには：

- 「エクストラ」＞「ゲーム」と選択し、ゲームを選択します。

iPod のバッテリを充電する

iPod には、取り外しできないバッテリが内蔵されています。iPod をしばらく使用しなかった場合、バッテリの充電が必要になることがあります。

iPod のバッテリは、約 2 時間で 80 %充電されます。完全に充電するには、約 4 時間かかります。iPod をコンピュータに接続して充電する場合、特に、充電中にファイルの転送や音楽の再生を行うと、充電に時間がかかることがあります。

さまざまな状況および構成での充電時間について詳しくは、www.apple.co.jp/support/ipod を参照してください。

iPod のバッテリは以下の 2 つの方法で充電できます：

- Mac を使用している場合は、iPod をコンピュータに接続することによって充電できます。Windows PC では、ほとんどの場合 iPod をコンピュータに接続すれば、iPod が充電されます。
- 通電しているコンセントに接続した電源アダプタに iPod を接続して充電することもできます。

コンピュータを使ってバッテリを充電するには：

- 適切なケーブルを使用して、コンピュータの 6 ピンの FireWire ポートまたは高電力型の USB 2.0 ポートに iPod を接続します。コンピュータの電源が入っていて、スリープモードになっていない必要があります（一部のモデルの Macintosh では、スリープモードでも iPod を充電できます）。

iPod のスクリーン右上隅のバッテリアイコンに稲妻が表示されている場合、そのバッテリは充電中です。



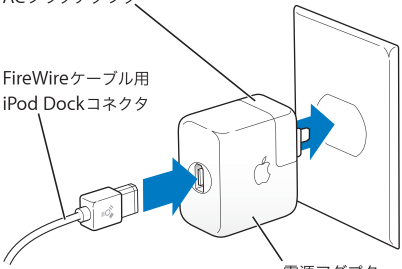
稲妻が表示されていない場合、iPod 電源アダプタを使用して、バッテリを充電する必要があります。

iPod 電源アダプタを使ってバッテリを充電するには：

1 AC プラグアダプタを電源アダプタに接続します（すでに組み立てられている可能性があります）。

2 iPod に付属の FireWire ケーブル用 iPod Dock コネクタを電源アダプタに接続し、ケーブルのもう一方の端子を iPod に接続します。

3 電源アダプタのプラグをコンセントに差し込みます。



警告：プラグをコンセントに差し込む前に、電源アダプタが完全に組み立てられていることを確認してください。

バッテリの状態

iPod を電源に接続していないときは、iPod のスクリーンの右上隅のバッテリアイコンを見れば、おおよそのバッテリ残量を確認できます。



バッテリは半分くらい
充電されています

iPod を電源に接続すると、バッテリアイコンが動いて、充電中であることを確認できます。



バッテリは充電中です

iPod を電源に接続し、バッテリアイコンの動きが止まったら、バッテリの充電が完了しています。



バッテリは完全に充電されています
（バッテリアイコンが動いていない場合）

iPod が完全に充電されていなくても、コンピュータとの接続を解除して、iPod を使用することができます。

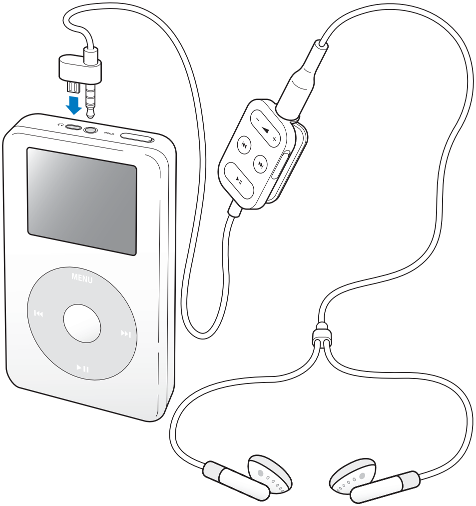
参考：充電式のバッテリに充電できる回数は限られているため、その回数を超えた場合は、バッテリを交換する必要があります。バッテリの寿命と充電回数は、使用方法と設定によって異なります。詳しくは、www.apple.co.jp/batteries を参照してください。

iPod のアクセサリ

iPod には、いくつかのアクセサリが付属しています。そのほかにも、www.apple.com/japanstore から、さまざまなアクセサリを購入できます。

iPod ワイヤードリモコン（別売）

iPod ワイヤードリモコンを使用するときは、リモコンを iPod のリモコンポートに接続し、アップル製インナーイヤー型ヘッドフォン（または他社製のヘッドフォン）をリモコンに接続します。リモコンのボタンは、iPod のボタンと同じように使用できます。



リモコンのホールドスイッチを使うと、リモコンのボタンが使用できなくなります。iPod のホールドスイッチと、iPod のリモコンのホールドスイッチは、お互いに影響しません。

インナーイヤー型ヘッドフォン

iPod には、高性能なアップル製インナーイヤー型ヘッドフォンが付属しています。

インナーイヤー型ヘッドフォンを使用するには：

- ジャックをヘッドフォンポートにつなぎ、イヤーバッドを耳に当てます。



警告：高出力（大音量）の音楽を長時間聴き続けると、聴覚を損なうおそれがあります。

購入できるアクセサリ

iPod のアクセサリは、www.apple.com/japanstore で購入できます。

次のアクセサリを購入できます。

- iPod Dock
- iPod ワイヤードリモコン付インナーイヤー型ヘッドフォン
- iPod インイヤー式ヘッドフォン
- FireWire ケーブル用 iPod Dock コネクタ
- iPod 電源アダプタ
- iPod キャリングケース
- ワールドトラベルアダプタキット
- スピーカ、ヘッドセット、マイクロフォン、メモリカードリーダー、バックアップ用バッテリ、カーステレオ用アダプタ、電源アダプタなどの他社製アクセサリ

ヒントとトラブルシューティング

iPod で発生した問題のほとんどは、このセクションのアドバイスに従ってすばやく解決できます。

iPod をリセットする

iPod で発生した問題のほとんどは、iPod をリセットすることで解決できます。

iPod をリセットするには：

1 iPod 電源アダプタを使って、iPod を電源コンセントに接続します。

2 ホールドスイッチのオン／オフを切り替えます（ホールドに設定してから、もう一度オフにします）。

3「選択」ボタンと「メニュー」ボタンを同時に押し、Apple ロゴが表示されるまで、6 秒以上押し続けます。

iPod の電源が入らない／ iPod が動かない

- ホールドスイッチがオフになっていることを確認します。
- iPod ワイヤードリモコンを使用している場合は、リモコンのホールドスイッチがオフになっていることを確認します。
- それでも何も起こらない場合は、iPod を iPod 電源アダプタに接続し、通電している電源コンセントにそのアダプタを接続します。iPod のバッテリの再充電が必要な場合もあります。
- それでも何も起こらない場合は、iPod のリセットが必要な可能性があります（前述を参照）。

- それでも何も起こらない場合は、iPod のソフトウェアを復元する必要がある可能性があります。53 ページの「iPod ソフトウェアのアップデートと復元」を参照してください。

iPod を取り外したいがスクリーンに「接続を解除しないでください。」と表示されている

- iPod が音楽を転送中の場合は、転送が完了するまでお待ちください。
- 「iTunes」のソースリストで iPod を選択し、「取り出し」ボタンをクリックします。
- iPod が「iTunes」のソースリストから消えたのに、iPod のスクリーンには「接続を解除しないでください。」のメッセージが表示されたままの場合は、気にせず iPod を取り外してください。
- iPod が「iTunes」のソースリストから消えない場合は、iPod のデスクトップアイコンを「ゴミ箱」にドラッグするか（Mac の場合）、システムトレイで「ハードウェアを安全に取り外す」アイコンをクリックし、お使いの iPod を選択してください（Windows PC の場合）。それでも「接続を解除しないでください。」メッセージが表示されたままの場合は、コンピュータを再起動してもう一度 iPod を取り出してください。

iPod で音楽を再生できない

- ホールドスイッチがオフになっていることを確認します。
- iPod ワイヤードリモコンを使用している場合は、リモコンのホールドスイッチがオフになっていることを確認します。
- ヘッドフォンのコネクタがしっかりと差し込まれていることを確認します。
- 音量が正しく調節されていることを確認します。
- それでも再生できない場合は、「再生／一時停止」ボタンを押します。iPod が一時停止の状態になっている可能性があります。
- iPod Dock を使用する場合は、必ず iPod を Dock にしっかりと固定し、すべてのケーブルが正しく接続されていることを確認します。

- Dock のライン出力ポートを使用している場合、外部スピーカまたはステレオの電源が入っており、正常に動作していることを確認します。

iPod をコンピュータに接続しても何も起こらない場合

- iPod CD からソフトウェアがインストールされていることを確認してください。
- お使いのコンピュータとソフトウェアがシステム条件に合っていることを確認します。5 ページの「お使いになる前に」を参照してください。
- iPod のリセットが必要な可能性があります（49 ページを参照）。
- ケーブルの接続を確認します。ケーブルをコンピュータと iPod の両方から外し、FireWire または USB ポートに異物が入り込んでいないことを確認します。確認後、ケーブルをもう一度しっかりとつなぎ直します。Apple iPod のケーブルのみを使用してください。ケーブルのコネクタが正しい向きであることを確認します。正しい向きでしか差し込みできません。
- USB 2.0 ケーブル用の iPod Dock コネクタを使ってノートコンピュータに iPod を接続する場合は、iPod を接続する前にノートコンピュータを電源コンセントに接続します。
- それでも何も起こらない場合は、コンピュータを再起動します。
- それでも何も起こらない場合は、iPod のソフトウェアを復元する必要がある可能性があります。53 ページの「iPod ソフトウェアのアップデートと復元」を参照してください。

iPod を USB ポートに接続したときに正しく動作しない場合

- iPod を接続するには、FireWire ポートまたは USB 2.0 ポートを使用する必要があります。USB 1.1 は、サポートされておらず、FireWire や USB 2.0 に比べてかなり低速です。お使いの Windows PC に FireWire ポートまたは USB 2.0 ポートがない場合は、Windows 認定の FireWire カードまたは USB 2.0 カードを購入して取り付けてください。詳しくは、www.apple.co.jp/ipod を参照してください。
- USB 2.0 ケーブル用の iPod Dock コネクタを使ってノートコンピュータに iPod を接続する場合は、iPod を接続する前にノートコンピュータを電源コンセントに接続します。
- Mac、または6ピンの FireWire ポートがあるWindows PC を使用している場合は、iPodに付属の FireWire ケーブルを使用して iPod を FireWire ポートに接続します。

画面が明るすぎる、または暗すぎる場合

1 「設定」＞「コントラスト」と選択します。

2 クリックホイールを使ってコントラストを調整します。

画面のコントラストが明るく、または暗くなりすぎてしまった場合は、「メニュー」ボタンを 4 秒以上押し続けると、デフォルトのコントラストにリセットできます。

理解できない言語に誤って設定してしまった場合

言語をリセットできます。

1 メインメニューが表示されるまで「メニュー」ボタンを繰り返し押します。

2 4 番目のメニュー項目（「設定」）を選択します。

3 最後のメニュー項目（「Reset All Settings」）を選択します。

4 2 番目のメニュー項目（「Reset」）を選択し、言語を選択します。

iPod のその他の設定（曲のリピートなど）もリセットされます。

参考：iPod のメインメニューの項目を追加したり取り除いたりした場合（35 ページを参照）、「設定」メニューが違う場所にある場合があります。

iPod ワイヤードリモコンを使用できない

- リモコンのホールドスイッチがオフになっていることを確認します。
- リモコンが iPod にしっかりと接続され、ヘッドフォンがリモコンにしっかりと接続されていることを確認します。

iPod ワイヤードリモコンは、一部の機種の iPod に付属しています。また、www.apple.com/japanstore から別途購入することもできます。

iPod を Mac と Windows PC で使いたい場合

iPod を Mac で使っているときに、その iPod を Windows PC で使いたい場合（または、その逆の場合）は、iPod ソフトウェアアップデートを使って、iPod のソフトウェアをほかのコンピュータで使えるように復元する必要があります（以下の「iPod ソフトウェアのアップデートと復元」を参照）。iPod のソフトウェアを復元すると、すべての曲を含め、すべてのデータが iPod から消去されます。

iPod のデータをすべて消去せずに、Mac で使用している iPod を Windows PC で使用するように切り替えること（または、その逆）はできません。

iPod ソフトウェアのアップデートと復元

アップルでは、iPod のソフトウェアを定期的にアップデートして、パフォーマンスの向上と機能の追加を行っています。iPod をアップデートして、最新のソフトウェアをお使いいただくことをお勧めします。

iPod のソフトウェアのアップデートまたは復元を選ぶことができます。

- **アップデートを選んだ場合は、**ソフトウェアがアップデートされますが、お使いの設定と曲は影響を受けません。
- **復元を選んだ場合は、**曲、ファイル、アドレス情報、写真、カレンダー情報、その他のデータなど、すべてのデータが iPod から消去されます。iPod の設定はすべて元の状態に復元されます。

最新のソフトウェアを使って iPod をアップデートまたは復元するには：

1 www.apple.co.jp/support/ipod へアクセスし、最新の iPod アップデートをダウンロードします。

2 ソフトウェアのインストールファイルをダブルクリックし、オンスクリーンの説明に従って iPod アップデートをインストールします。

3 iPod をコンピュータに接続し、「iTunes」を開きます。iPod アップデートアプリケーションが開きます。

Windows PC を使用していて、iPod アップデートアプリケーションが自動的に開かない場合は、「スタート」＞「プログラム」＞「iPod」と選択すると、アップデートアプリケーションを見つけることができます。

4 オンスクリーンの説明に従って iPod のソフトウェアをアップデートまたは復元します。

iPod アップデートアプリケーションを使用するときに、iPod がコンピュータに接続されていることが認識されない場合は、iPod をリセットしてください（49 ページを参照）。

iPod のソフトウェアを復元したいけれどもインターネットに接続できない場合は、iPod のソフトウェアを iPod の CD からインストールしたときにコンピュータにインストールされた iPod アップデートを使うことができます。

iPod の CD に付属のアップデートアプリケーションを使って iPod のソフトウェアを復元するには：

- Mac の場合は、「アプリケーション / ユーティリティ」にアップデートアプリケーションがあります。
- Windows PC の場合は、「スタート」＞「プログラム」＞「iPod」と選択すると、アップデートアプリケーションを見つけることができます。

その他の情報、サービス、サポート

iPod の CD、オンスクリーンヘルプ、およびインターネットで、iPod の詳しい使いかたを調べることができます。

iPod のチュートリアル

iPod への音楽の転送や音楽の再生に関するより詳しいチュートリアルについては、iPod の CD に収録されている「iPod チュートリアル」を参照してください。

オンスクリーンヘルプ

- iPod および「iTunes」の使いかたについて詳しくは、「iTunes」を開き、「ヘルプ」＞「iTunes ＆ミュージックストアヘルプ」と選択してください。
- 「iSync」（Mac OS X の場合）の使いかたについて詳しくは、「iSync」を開き、「ヘルプ」＞「iSync ヘルプ」と選択してください。
- 「iCal」（Mac OS X の場合）の使いかたについて詳しくは、「iCal」を開き、「ヘルプ」＞「iCal ヘルプ」と選択してください。

オンライン参考情報

iPod の最新情報については、www.apple.co.jp/ipod を参照してください。

iPod のサービスとサポート情報、公開されている製品固有の情報やフィードバック、最新のアップルソフトウェアのダウンロードについては、www.apple.co.jp/support/ipod/ を参照してください。

iPod のユーザ登録をする（iPod の CD からソフトウェアをインストールしたときに登録しなかった場合）には、www.apple.co.jp/registration へアクセスしてください。

「iTunes」のオンラインチュートリアル（一部の地域でのみ利用可能です）については、www.apple.com/support/itunes にアクセスしてください。

保証サービスを受ける

製品が損傷した場合または正しく機能しない場合は、この冊子、オンスクリーンヘルプ、およびオンライン参考情報の指示に従ってください。

それでも問題が解決しない場合は、www.apple.co.jp/support を参照して、保証サービスの利用方法を確認してください。

iPod のシリアル番号を確認する

シリアル番号は、iPod の背面にプリントされています。また、「設定」＞「情報」と選択して調べることもできます。

安全にお使いいただくための注意点と清掃方法

次に、安全にお使いいただくための注意点と、iPod の清掃方法を説明します。

安全に関する重要な情報

iPod を設定および使用するときは、次の点に注意してください：

- iPod 電源アダプタをコンセントに差し込む前に、すべてのマニュアルをよくお読みください。
- これらのマニュアルは、いつでも参照できるように手元に置いておいてください。
- iPod に関する指示および注意にはすべて従ってください。

警告：電気製品は、取り扱いを誤ると大変危険です。本製品に限らず、電気製品をお子様がお使いになるときは、そばで大人の方が監視・指導してください。また、電気製品の内部やケーブル、コード類にはお子様が手を触れないようご注意ください。

聴覚の損傷を避ける

警告：ハンズフリーヘッドセットやヘッドフォンを大音量で使用すると、聴覚を損なうおそれがあります。大音量で再生を続けていると、耳が慣れ、通常の音量のように聴こえることがありますが、聴覚が損なわれている可能性があります。このような危険を避けるために、iPod の音量は安全なレベルに設定してください。耳鳴りがする場合は、音量を下げるか、iPod の使用を中止してください。

運転中に使用しない

重要：乗り物を運転しながらのヘッドフォンの使用は、大変危険です。自動車の運転中は特に注意してください。乗り物の運転やその他注意が必要な作業を行っているときに、iPod の再生によって注意力が妨げられると感じたときは、iPod の再生を中止してください。

コネクタとポート

コネクタは、ポートに無理に押し込まないでください。コネクタとポートを簡単に接続できない場合は、それらの形状が一致していない可能性があります。コネクタとポートの形状が一致していることを確認し、ポートに対して正しい向きでコネクタを差し込んでください。

バッテリ

iPod のバッテリを取り外そうとしないでください。iPod は、お住まいの地域の環境条例に従って廃棄する必要があります。

電源の使用

- 電源アダプタは、iPod に付属するものだけを使用してください。ほかの電気製品に付属するアダプタは、形状が似ていても、使用すると iPod の故障の原因となるおそれがあります。
- 電源アダプタに流れる電力を完全に遮断するには、アダプタを電源から取り外す必要があります。
- 電源アダプタの周囲には常にスペースを確保してください。本棚など、電源アダプタの周囲の空気の流れが妨げられる場所では、本製品を使用しないでください。
- 電源アダプタを抜き差しするときは、電源アダプタを側面からしっかりと持って行ってください。指がアダプタの金属部分に触れないように注意してください。
- 電源アダプタに FireWire ケーブルを接続する前に、電源アダプタの FireWire ポートの中に異物が入り込んでいないことを確認してください。
- iPod の電源アダプタは高電圧を扱う部品です。iPod の電源が入っていないときでも、絶対に分解しないでください。電源アダプタの修理が必要な場合は、55 ページの「その他の情報、サービス、サポート」を参照してください。
- 電源アダプタの FireWire ポートにコネクタを無理に差し込まないでください。コネクタとポートを簡単に接続できない場合は、それらの形状が一致していない可能性があります。コネクタとポートの形状が一致していることを確認し、ポートに対して正しい向きでコネクタを差し込んでください。

使用時および保管時の温度

- iPod は、温度が 0° C ～ 35° C（32° F ～ 95° F）に保たれた場所で使用してください。
- iPod は、温度が –20° C ～ 45° C（–4° F ～ 113° F）に保たれた場所に保管してください。駐車した車の中の温度はこの範囲を超えることがあるので、iPod を車の中に置いたままにしないでください。
- 低温の状態では、iPod の再生時間が一時的に短くなることがあります。
- iPod の使用中またはバッテリの充電中は、ケースの底面がやや熱を持ちますが、これは異常ではありません。iPod のケースの底面には、装置内部の熱を外部の空気で冷却する機能があります。

水気のある場所を避ける

警告：感電や負傷を避けるために、水中や水気のある場所、湿気の多い場所では iPod を使用しないでください。

- 飲み物の近く、洗面台、浴槽、シャワー室など、液体のある場所にはiPod および電源アダプタを置かないでください。
- iPod および電源アダプタを、日光、雨、雪などに直接さらさないようにしてください。
- iPod や電源アダプタに食べ物や液体をこぼさないように注意してください。食べ物や液体をこぼしてしまった場合は、必ず iPod を電源から取り外してから、清掃してください。

こぼしたものの種類や量によっては、アップルによる修理が必要な場合もあります。詳しくは、55 ページの「その他の情報、サービス、サポート」を参照してください。

自分で修理をしない

警告 ：iPod や電源アダプタを開けたり、分解したり、バッテリを取り外したりしないでください。感電の危険があり、また、製品保証が無効になります。内部には、お使いの方がご自身で修理できる部品はありません。

修理について詳しくは、55 ページの「その他の情報、サービス、サポート」を参照してください。

清掃方法

iPod とその付属部品の外側を清掃するときは、次の点に注意してください：

- iPod が電源から取り外されていることを確認します。
- 柔らかくけば立たない布を水で湿らせて使用します。開口部に水が入らないように注意してください。
- スプレー式の液体クリーナー、有機溶剤、アルコール、研磨剤は使用しないでください。

お取り扱いの注意

保管および取り扱い方法を誤ると、iPod の故障の原因となります。iPod の再生中や持ち運び中は、落とさないように注意してください。

情報通信機器に関する規制

FCC Compliance Statement

This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. See instructions if interference to radio or television reception is suspected.

Radio and Television Interference

This computer equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy. If it is not installed and used properly—that is, in strict accordance with Apple's instructions—it may cause interference with radio and television reception.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device in accordance with the specifications in Part 15 of FCC rules. These specifications are designed to provide reasonable protection against such interference in a residential installation. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

You can determine whether your computer system is causing interference by turning it off. If the interference stops, it was probably caused by the computer or one of the peripheral devices.

If your computer system does cause interference to radio or television reception, try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Turn the television or radio antenna until the interference stops.
- Move the computer to one side or the other of the television or radio.
- Move the computer farther away from the television or radio.
- Plug the computer in to an outlet that is on a different circuit from the television or radio. (That is, make certain the computer and the television or radio are on circuits controlled by different circuit breakers or fuses.)

If necessary, consult an Apple-authorized service provider or Apple. See the service and support information that came with your Apple product. Or, consult an experienced radio/television technician for additional suggestions.

Important: Changes or modifications to this product not authorized by Apple Computer, Inc. could void the EMC compliance and negate your authority to operate the product.

This product was tested for EMC compliance under conditions that included the use of Apple peripheral devices and Apple shielded cables and connectors between system components. It is important that you use Apple peripheral devices and shielded cables and connectors between system components to reduce the possibility of causing interference to radios, television sets, and other electronic devices. You can obtain Apple peripheral devices and the proper shielded cables and connectors through an Apple Authorized Reseller. For non-Apple peripheral devices, contact the manufacturer or dealer for assistance. Responsible party (contact for FCC matters only): Apple Computer, Inc. Product Compliance, 1 Infinite Loop M/S 26-A, Cupertino, CA 95014-2084, 408-974-2000.

Industry Canada Statement

This Class B device meets all requirements of the Canadian interference-causing equipment regulations.

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

VCCI クラス B 基準について

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取扱をしてください。

European Community

Complies with European Directives 72/23/EEC and 89/336/EEC.

Apple and the Environment

At Apple, we recognize our responsibility to minimize the environmental impacts of our operations and products. For more information, go to www.apple.com/about/environment.

www.apple.co.jp/ipod
www.apple.co.jp/support/ipod

J019-0245